

秋号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

◆みどり講習会◆・・・参加費 無料

□日時：10月22日（日）10:00～12:00

内容：「落葉樹の剪定」

□日時：11月19日（日）10:00～12:00

内容：「植物の冬越しと寒肥について」

～どなたでも参加できますので、お越しください～



My ガーデニング・・・季節のワンポイントアドバイス

【水やり】

今夏は、夏とは名ばかりで雨が続き、水やりの回数が減った代わりに、病害虫の発生が多く見られました。冬に向けて水やりの回数・量は、徐々に減りますが、乾燥した場合は、日中にたっぷり水やりをします。

【剪定】

常緑広葉樹は、これから寒さに向かうので剪定は飛び出している枝を切り詰める程度にします。

落葉樹は適期が落葉後になり、針葉樹は、来春まで待ちますが、マツ類は、混み過ぎた枝を整理して雪害から守り、11月中旬頃からの透かし剪定が、樹勢を弱らせずに綺麗な樹形を保ちます。

芝生（日本芝）は、10月中に刈り終えて冬を迎えます。

【植替え】

キンモクセイやサザンカなどが店先に出回りますが、細かい根が張っていないものは、冬の寒さで枯れてしまうことが多くあります。観賞の時期は今ですが、移植の時期は春先がベストです。

ボタンやシャクヤクは、早い時期に植込むと根が傷まずに良く育ちます。多くの樹木に共通して言えることは、赤玉土6～7割、腐葉土3～7割

が基本の土壌です。黒土が、一番良いと考えるのは改めるべきかと思えます。

【肥料】

この時期は、基本的に施しません。緩効性肥料は、ゆっくりそして長く効果があるので、寒さに向かう今の季節は施さず冬まで待って寒肥をします。

【雑草対策】

今年は、樹木の状態がいつもと違うという相談を何度か受けました。見てみると、枝先の方の葉が特に黄色や茶色に変色し萎縮していました。

その状態から除草剤の使用を尋ねると、粒状の非選択剤型吸収移行型の薬剤を撒いたとのことでした。ホームセンターなどに行くと、長い期間にわたり雑草が生えないなどの効果があることから、購入するかたがいるようです。この薬剤は、撒いた場所だけでなく、そこから流れ出ていく水にもその成分が含まれ、他人の大切な作物までも枯らしてしまいます。薬剤は、殺虫殺菌剤も含めて安易に使用しないほうがいいです。もし、使用する場合は、必ず注意書きに記載されているように使用方法・使用量などを守ってください。

【病害虫】

(アメリカシロヒトリ)

この夏、久しぶりに大量発生しました。ひどく食害された樹木は、葉が1枚もなく樹勢に大きなダメージとなってしまいます。ただ、このイモムシは、毛に毒が無いといわれているのでまだ安心ですが、壁を登ったりするため嫌がられます。

今夏のように大量発生すると、来年の発生が心配になります。この虫は、最初はクモの巣状態で発生しますので、この時に退治すると簡単です。幼虫が大きくなって拡散してからでは個人での防除は大変です。薬剤の効果がすぐにでる害虫なので、販売店で確認してください。なお、薬剤としては、毒・劇物扱いのものもありますので、くれぐれも使用するときは、取扱いに注意して使用方法・使用量を必ず守ってください。

(イラガ)

イラガの発生も目立ちました。この虫に刺されると酷い痒みを伴い、早めの治療が必要になります。広葉樹に発生し、葉の裏側に葉と同じような色をして付いています。葉が食害された跡が見られた時には、よく葉の裏側に注意してください。

この虫は、固い殻に包まれて(1センチ弱の卵型)枝に着生して越冬します。この蛹(さなぎ)の状態のうちに取り除いておくことが大切です。



(害虫 イラガ)

(ケムシ)・・・マツカレハ

針葉樹につくケムシ(マツカレハ)は、この時期に退治しておくことが大切です。この害虫は、幼齢で越冬して来春に葉を大量に食べてしまいます。マツの木に行なうコモ巻は、この害虫を誘引して退治する方法ですが、効果は限定的です。今年も松枯れが目立ちましたが、枯れたマツは早めに処分をして、次の発生を防ぎます。

(すす病)

街路樹も含めて、葉が黒くなり樹木の下までも黒く汚れている状態が、すす病です。アブラムシやカイガラムシの排泄物に菌が発生し起こる病気ですので、害虫を退治しておくで防げます。

(うどんこ病)

葉に粉がついたように白くなります。ハナミズキやカエデ類に発生します。この病気がつくと綺麗な紅葉は、見られません。この病気は、梅雨の前後の乾燥した時に発生しますので、その頃に予防薬を散布します。

◇バラが綺麗に咲きだす季節ですが、アブラムシ・うどん粉病・黒星病などがついていないか見てください。もし、病害虫になっていたら早めに対処してください。



(うどんこ病)



(黒星病)

◇落葉樹はこの季節落葉しますので、特に落ち葉は綺麗に掃き集め処分することが、次の病害虫の発生を防ぎます。また、卵塊(卵のかたまり)は、見つけ次第取り除いてください。

参考までに、防除薬剤も一度の散布で効果が長く持続する薬品が出てきました。

(一例 マイクロカプセルMC)

近年、郡山市近郊で見かけなかった病害虫が発生しています。いずれにしても、早めの予防・防除をして被害が広がらないようにすることが大切です。

♪みどりのつばやき♪

ドライブをしていると、チラホラ木々の葉が黄色や赤色になり始めています。天気のいい日に空を見上げると、秋空が綺麗です。

